



<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年12月5日

<u>IMF 暫定コメント</u> 2020 年フィリピン経済は上向く

フィリピンを現地調査した IMF スタッフの暫定意見によると、これから 2020 年にかけて同国の経済は強含むとし、2019 年については+5.7%の成長予測を維持したものの、2020 年の経済成長率予測を、10 月発表の+6.2%よりも高い+6.3%が見込まれるとした。

2019 年前半に不調だった政府支出が年後半に入って回復していることや、金融緩和政策によって経済成長鈍化や物価の変動にも適切に対応できていることを評価している。

また、ドゥテルテ政権が進める税制改革やビジネス環境の改善などの構造改革が継続されることで、中期的な経済見通しは良好だとしている。



出所:IMF のデータを基にキャピタル アセットマネジメントにて作成 以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。 | 1